

テルモ インプラントブルポートセット

# ご家庭で中心静脈ポート DewX Eterna™ を安全にご使用いただくために

このマニュアルは、ご家庭でテルモ インプラントブルポートセット DewX Eterna (以下、CVポート) を安全に取り扱うための手順をご紹介します。なお、各施設・製品によって手順・使用方法が異なる場合があります。

看護手順及び製品の電子添文を確認の上、ご使用頂きますようお願い致します。

## ■ CVポートの名称

- CVポートについて
- ノンコアリングニードルについて

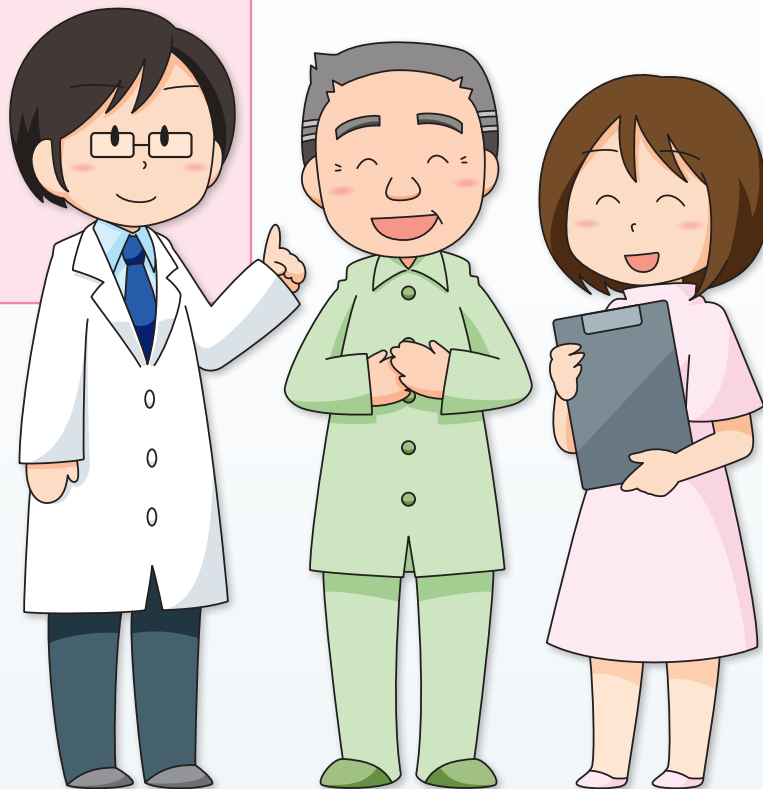
## ■ ご確認事項

- 患者記録カード
- 埋め込み箇所・周辺のご確認

## ■ 穿刺の手順

## ■ 抜針の手順

## ■ Q&A



# CVポートの名称

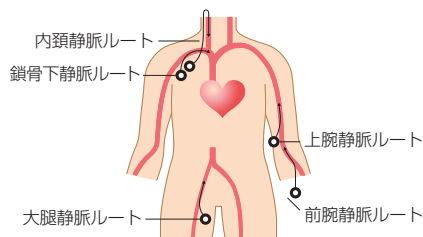
## CVポートについて

### 〈適 応〉

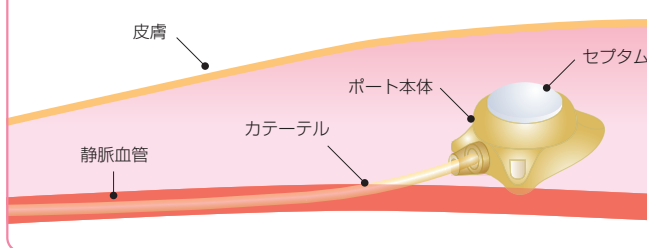
- 持続的な抗がん剤の投与を行う場合
- 末梢血管の確保が困難な場合
- 血管外漏出が重篤な皮膚障害を来す薬剤を投与する場合
- 在宅での中心静脈栄養を行う場合

長期間にわたる全身への投薬の際にCVポートを使います。ポート本体は、鎖骨下・上腕・前腕・大腿部のいずれかに埋め込まれ、接続されているカテーテルは、鎖骨下静脈・内頸静脈・上腕静脈・大腿静脈のいずれかに挿入されています。

### CVポート留置部位

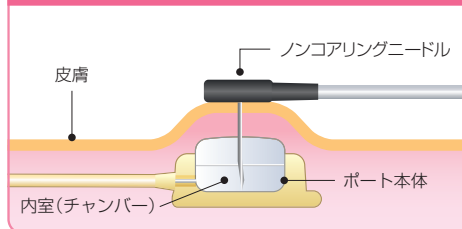


### CVポートシステムに関連した名称



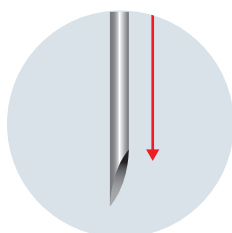
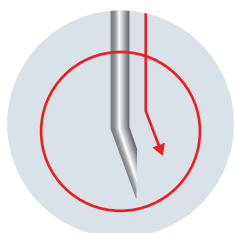
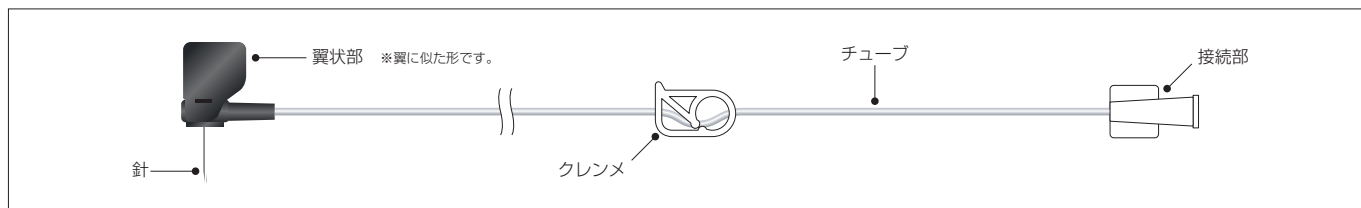
- 投薬の際、経皮的にセプタムを介し、内室（チャンバー）までノンコアリングニードルで穿刺し、薬液を注入します。注入された薬液はカテーテルと静脈を経由して全身へ運ばれます。
- CVポートを使用することで、1回の穿刺で確実な血管確保が可能となり、頻回の血管穿刺による疼痛や血管損傷を回避できます。

### 穿刺したイメージ



## ノンコアリングニードル（ヒューバー針）について

- 穿刺の際には、ノンコアリングニードルという特殊な先端形状の穿刺針を使用します。




### ノンコアリングニードルを使用する理由とは？

通常の注射針では、針先でセプタム部のシリコンを削り取ってしまう場合がありますが、ノンコアリングニードルの針先は、角度が付き針穴が側面に位置しており、セプタムを削り取らない形状になっています。

**POINT**

# ご確認事項

## 患者記録カード

**DewX** 患者記録カード Patient Card  
私は、テルモインプラントブルポートセット(DewX)を留置しています。  
This patient has a Terumo Implantable Port Set (DewX) implanted. 

患者氏名:	TEL:
病院名:	TEL:
担当医師名:	留置日: 年 月 日
型式・製造番号: 貼付ラベル参照	留置位置:
特記事項:	

◆高圧注入対応(300psi)  
**TERUMO** テルモ株式会社 TEL 0120-12-8195

本カードには、以下の情報が記載されております。

### 〈記載内容〉

- 留置手術に関する基本情報
- 留置製品に関する基本情報
- 高圧注入する際の注意事項
- 管理する際の注意事項

- 治療前に本カードとカルテ等で患者様名とポート情報を確認し、治療を行ってください。

## 埋め込み箇所・周辺のご確認

患者さんのポートの埋め込み箇所とその周辺をこまめにご確認ください。  
もし、以下のような症状がございましたら、速やかに主治医までご報告ください。

- |         |      |         |
|---------|------|---------|
| ■ 発赤    | ■ 発熱 | ■ 腫脹    |
| ■ 皮膚の異常 | ■ 出血 | ■ 薬の漏れ等 |





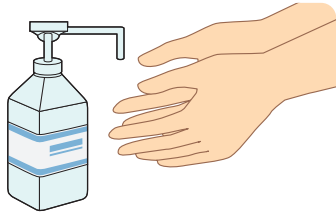
# 穿刺の手順

## ▶ 必要な物品

- 手袋
- ノンコアリングニードル

## 1 手洗い

- アルコール擦式製剤で手洗い（ラビング法）した後、乾燥させてから手袋を装着します。ただし、手が目に見えて汚れている場合は、石鹸と流水で手洗い（スクラブ法）した後、乾燥させてから手袋を装着します。

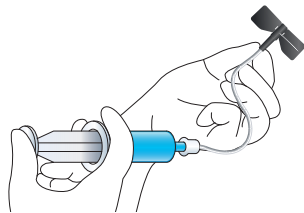


ラビング法、スクラブ法のいずれも、手洗い後にしっかり乾燥させることが大切です。

**POINT**

## 2 プライミングの実施

- 生理食塩液入りシリンジ（10mL以上）をノンコアリングニードルのチューブに接続します。



### プライミング

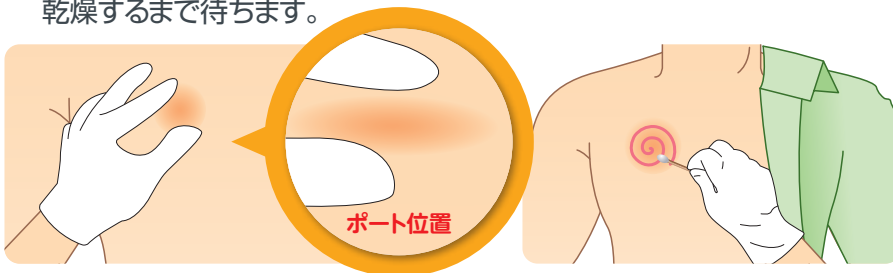
ノンコアリングニードル・チューブ内を生理食塩液で満たし、空気を抜きます。

ノンコアリングニードルの針先が濡れた状態で他の環境に触れると、清潔が保てないので注意します。

**POINT**

## 3 ポートの確認と消毒

- 指先で皮膚の上からポートの位置を確認します。
- 穿刺する部位と周囲を滅菌綿棒と消毒液で消毒します。皮膚表面の汚れが除去できたら、消毒液が乾燥するまで待ちます。



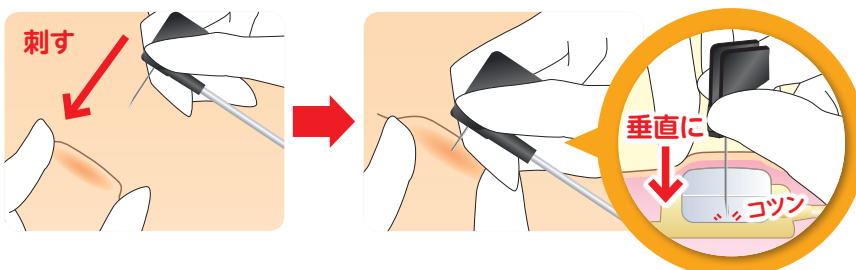
ポート位置

患部の周囲に直径10cm～15cmの円を描くようにして消毒します。

**POINT**

## 4 ノンコアリングニードルの穿刺

- 片方の手でポートを摘み固定します。
- もう片方の手でノンコアリングニードルの翼状部を持ち、セプタムに対して垂直になるように針を刺します。
- 前回、穿刺した際の傷跡がある場合、傷跡を避けて穿刺することがポートを長く使用する秘訣です。



刺す

垂直に

コツン

針の先端がポートの底板にコツンと当たる感覚があるまでゆっくりと針を刺します。

**POINT**

生理食塩液入りシリンジ (10mL以上)  
 滅菌綿棒

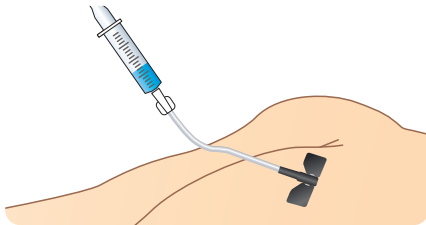
消毒液 (アルコール、10% ポビドンヨード又は 20% クロールヘキシジン)  
 ロック液 (生理食塩液 / ヘパリン加生理食塩液)

滅菌ガーゼ

※施設にて指定しているものに○をしてください。

## 5 逆血を確認

- シリンジを引き、少量 (0.5mL ~ 1mL) の逆血確認を行います。

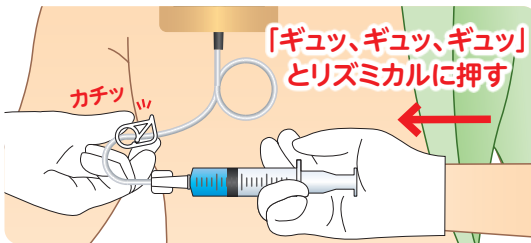


### 逆血確認

血液を逆流させることでノンコアリングニードルが正しく穿刺がされているか、ポート及びカテーテル内に閉塞がないかを確認します。

## 6 ポンピングフラッシュの実施

- ロック液を何回かに分けてリズムカルに注入 (ポンピングフラッシュ) を行います。  
残りのロック液を持続的に注入しながら、クレンメを閉じることで確実な陽圧ロックが可能です。



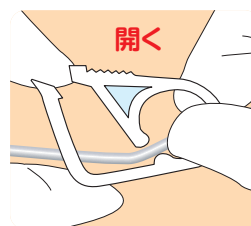
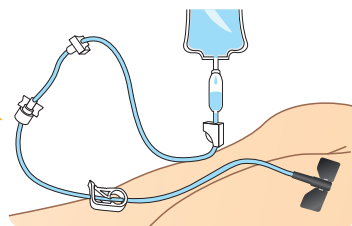
ポンピングフラッシュをすることにより、ポート内に残った血液を効果的に流すことができます。フラッシュの際、10mL以上のシリンジを使用してください。小さいシリンジを使用すると大きな圧が加わり、ポートまたはカテーテルが破損する可能性があります。

POINT

穿刺の手順

## 7 薬液の注入

- ノンコアリングニードル側と輸液セット側のチューブを接続します。
- クレンメを開き、薬液の注入を開始します。



薬液注入した後、患部とその周囲に腫脹や疼痛が無いことを確認してください。

POINT

## 8 固定と保護

- チューブをループ状にして、刺入部が中心になるようにテープで固定 (またはノンコアリングニードルの上に滅菌ガーゼを被せて、その上からテープで固定)、その上からドレッシング剤を貼り付けます。

注意: 刺入部ではなく、翼状部を中心に固定した場合、針先が浮き上がることがあります。



もし、ノンコアリングニードルの翼状部が浮いて不安定な場合、滅菌ガーゼを適当な厚さに折り畳み翼状部と皮膚の間に挟み、テープで固定します。

POINT





# 抜針の手順

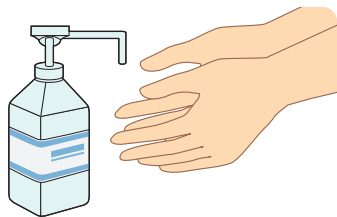
## ▶ 必要な物品

- 手袋
- ロック液(生理食塩液 / ヘパリン加生理食塩液)

※施設にて指定しているものに○をしてください。

## 1 手洗い

- アルコール擦式製剤で手洗い(ラビング法)した後、乾燥させてから手袋を装着します。ただし、手が目に見えて汚れている場合は、石鹸と流水で手洗いを(スクラブ法)した後、乾燥させてから手袋を装着します。

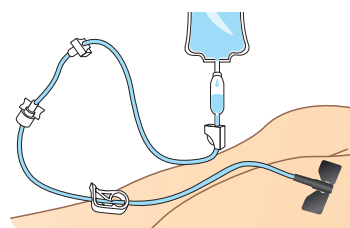
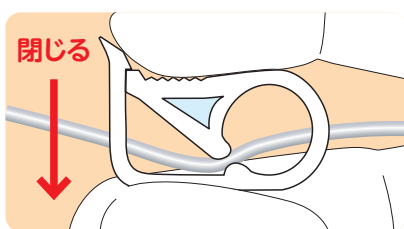


ラビング法、スクラブ法のいずれも、手洗い後にしっかり乾燥させることが大切です。

**POINT**

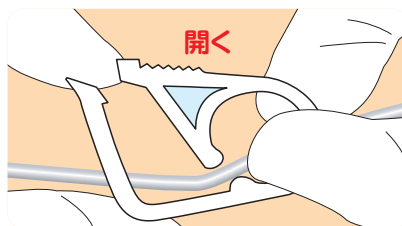
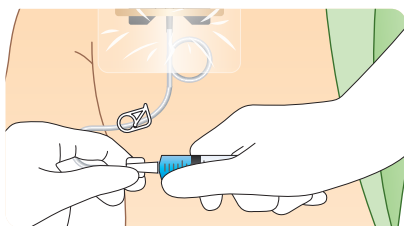
## 2 輸液チューブを外す

- 輸液の注入が止まったことを確認した後、クレンメを閉じます。
- 輸液注入の終了を確認後、輸液チューブを外します。



## 3 シリンジの接続

- 10mL以上のロック液が入ったシリンジをノンコアリングニードル側のチューブに接続します。
- クレンメを開きます。



## 4 ポンピングフラッシュ・陽圧ロックの実施

- ロック液を何回かに分けてリズムカルに注入(ポンピングフラッシュ)を行います。残りのロック液を持続的に注入しながら、クレンメを閉じることで確実な陽圧ロックが可能です。



ポンピングフラッシュをすることにより、ポート内に残った血液を効果的に流すことができます。フラッシュの際、10mL以上のシリンジを使用してください。小さいシリンジを使用すると大きな圧が加わり、ポートまたはカテーテルが破損する可能性があります。

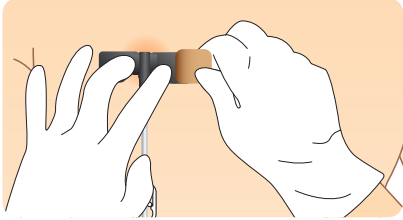
**POINT**

シリンジ (10mL 以上)  
 滅菌ガーゼ

消毒液  
(アルコール、10% ポビドンヨード又は 20% クロールヘキシジン)

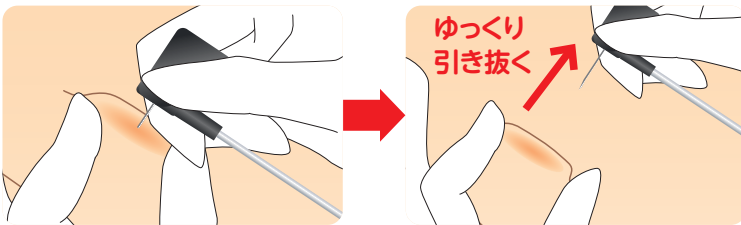
滅菌綿棒  
 絆創膏

## 5 固定用テープを剥がす



## 6 ノンコアリングニードルの抜針

- 片方の手でポートをしっかりと摘み、固定します。ノンコアリングニードルの翼状部を持ちます。
- 針をセプタムに対して垂直になる角度でゆっくり針を抜きます。



斜めに針を抜くと、余計な力が加わり、針刺し事故の原因になる場合がありますので、垂直になるように引き抜きます。

**POINT**

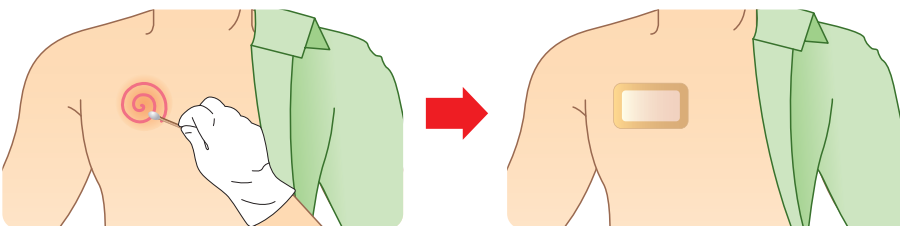
## 7 圧迫止血

- 滅菌ガーゼで、穿刺箇所を圧迫止血を行います。



## 8 消毒と保護

- 止血確認後、穿刺箇所周囲を滅菌綿棒と消毒液で消毒します。
- 最後に絆創膏を貼ります。絆創膏を貼り続けると皮膚トラブルの原因となるので、半日から1日以内に剥がしてください。



患部の周囲に直径 **10cm ~ 15cm** の円を描くようにして消毒します。

**POINT**

## 9 使用物品の廃棄

- 病院で指定されている方法で、ノンコアリングニードル・チューブ・ルート・ポンプを廃棄します。



## Q & A



Q

ポート埋め込み部周囲に発熱・腫脹・疼痛がある場合、どうしたら良いのでしょうか？

A

合併症の可能性が疑われます。CVポートの使用を中止し、速やかに主治医にご報告ください。予防策として、管理の際に以下のことを徹底してください。

〈予防策〉

- ・清潔操作の実施。
- ・穿刺前に穿刺部位と周囲を滅菌綿棒と消毒液で消毒、皮膚表面の汚れの除去。
- ・ノンコアリングニードル・チューブを清潔に取り扱う。
- ・皮膚欠損の原因になるので、前回と同じ部位への穿刺を避ける。
- ・半日から1日で絆創膏を剥がす。

Q

ロック液・薬液の注入ができない場合、どうしたら良いのでしょうか？

A

以下のことが原因として考えられますので、ご確認ください。

〈確認事項〉

- ・クレンメが閉じたままになっていませんか？
- ・ルートが屈曲していませんか？
- ・正しくルートが接続されていますか？
- ・ノンコアリングニードルは垂直に穿刺されていますか？
- ・底板までノンコアリングニードルが穿刺されていますか？

確認・対処しても、改善されない場合、速やかに主治医にご報告ください。

Q

ポートを長期間使用しない場合、カテーテルはどのようにして管理したら良いのでしょうか？

A

閉塞を防止するために、以下のとおりの用量でポンピングフラッシュと陽圧ロックを行ってください。

フラッシュ量	
逆血確認、採血後	20mL 以上フラッシュ
薬剤、TPN溶液 注入後	10mL 以上フラッシュ
輸血、脂肪乳剤 投与後	ただちに 20mL 以上フラッシュ
長期不使用時	10mL 以上フラッシュ

ポートを使用しない期間が長くなった場合には、フラッシュを少なくとも4週間に1回行ってください。

Q

薬液注入の際に使用するポンプについて教えてください。

A

ポンプ内部にバルーンがセットされており、バルーンが収縮する力により、薬液を注入します(ローラーポンプ式もございます)。

CVポートと併用する際は、抗がん剤・薬液を注入する際に使用されます。

バルーンポンプはディスポーザブルで、薬液注入後に病院が指定している方法で廃棄します。

一般的名称：長期的使用注入用植込みポート 販売名：テルモ インプランタブルポートセット 医療機器承認番号：22500BZX00078000  
 製造販売業者：テルモ・クリニカルサプライ株式会社  
 デュークスは、テルモ インプランタブルポートセットのペットネームです。  
 本製品の詳細は電子添文をご参照ください。